

OPTアイ  
チューンドカー  
の典型!



正に羊の皮を着た狼を地ていったようなファンタスティックチューンドカーだ。

TEST  
on  
ROAD

# トライアル コロナGT-R

## 爆発的ターボパワーは ワープ感覚!

ストリート・ターボ

ウエッジシェイプのボディラインと、ストリートなプレスラインでファンを持つコロナ。ハイソカーでもないし、かといってチープなイメージは全くない。ポイズレーサーを卒業した走り屋に人気が高い車だ。

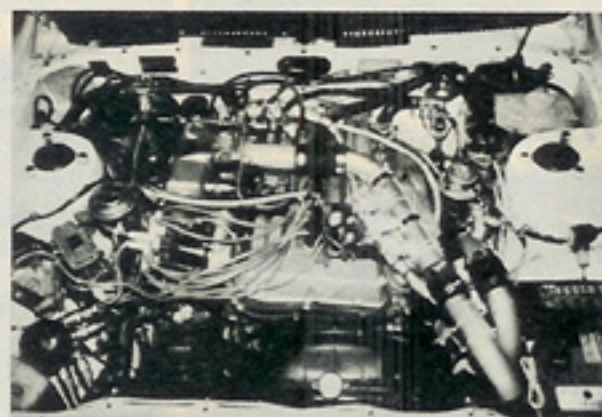
今回試乗したこのコロナGT-Rは、そんな走り屋にとってお手本となるような、とにかく走りに徹した車だ。チューニングは、先月号の人物コーナーでも登場してもらった、オーバー300km/hの仕掛人・トライアルの社長牧原さんによるもの。なるほど妥協のないパフォーマンスなチューンドだ。

エンジンは、3T-GTEUだが、3T-Gのプロックは肉厚が薄く、ボアアップにも限界がある。そのため、2T-Gのエンジンプロックを流用してボアアップし、1920cc。クランクシャフトも2T-Gのレース用を使っており、コンロッドはタフトライント処理した物を組み込んでいる。パワーアップソースのメイソンはポルトオンターボキットで、耐久性で定評のあるロトマスタ製を使用。タービンからのエキゾーストシステムはキダレーシングのオリジナルマフラーを採用している。

インタークーラーはHK製の大容量タイプで、オイルクーラーも同じくHK製の。ノーマルの外観をもつこのコロナに乗ってみる。イタルボランテのステアリングやブースト計、油温計などが目に入ってくる。確かにチューンドカーとしてのイメージが伝わってくる。しかし、乗る前に見たシックなレーシングエポルトやノーマルボディのイメージが消えきれないまま、キーを回した。

突然開いたエキゾーストノットが室内にこもる。この車がやはり純粋なチューンドカーであることを、その咆哮は教えてくれた。

まずローを2000rpmぐらいで踏



2T-Gのレース用パーツを流用し、230psを誇るエンジン。インタークーラーからサージタンクまでのパイプには3本のサブインジェクターが並んでいる。



室内は外装とうって違ってシブな装備。ブースト計と油温計がタテに並び、ステアリングはイタルボランテ、黒のレザーが内装にベストマッチする。

★トライアル・コロナ3TG-T

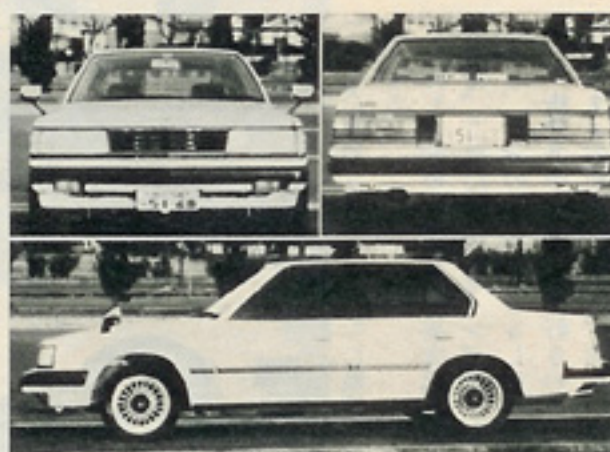
SPECIFICATION	
タイプ	コロナ1800GT-T
型式	
全長(m)	4.905
全幅(m)	1.665
全高(m)	1.325
ホイールベース(m)	2.500
トレッド(m) 前/後	1.395/1.385
最低地上高(m)	0.155
車両重量(kg)	1,170
乗車定員(名)	5
エンジン型式	3T-GTEU改
総排気量(cc)	1,770
ボア×ストローク(mm)	85.0×76.0
圧縮比	7.8
キャブレション	EFI
燃料タンク容量(l)	61
最大出力(ps/rpm)	230ps
最大トルク(kg-m/rpm)	
燃料消費率(l/100km)	
登坂能力(tan%)	
最小回転半径(m)	5.0
トランスミッション	
(5速マニュアル)	
1速	3.566
2速	2.056
3速	1.304
4速	1.000
5速	0.850
後進	4.091
減速比	4.100
ステアリング形式	ラック&ピニオン
懸架方式 前/後	ストラット/セミトレーリングアーム
ブレーキ形式 前/後	ディスク
タイヤ	P7 205/50VR15

トライアル 〒578大阪府東大阪市安江780-1  
☎0729-65-6823

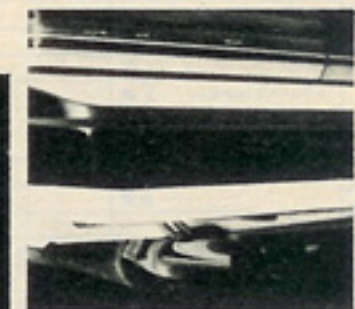
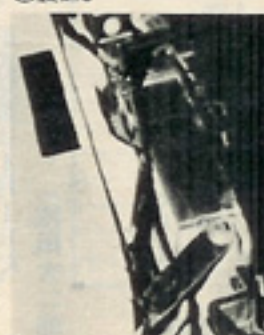
まずローを2000rpmぐらいで踏む込んでみる。3500~4000rpmあたりまではちよつと不安定な加速だが、4500rpmを越え、4800rpmあたりには針が飛びこんだと同時に、コロナはコロナでなくなつた。この加速はロケット的ともいおうか、頭はヘッドレストに押しさえられ、ドライバーは必死で前方のみをにらみつけることになる。2~3回この加速を体感してからやっとブースト計に目を移せるようになった。ブースト計の針は加速中けいれんしたようにビクビクと震え、フルブースト時に1.2kg/cm<sup>2</sup>でビタリと止まった。

トライアル・コロナはターボ本来のパワーを100パーセント楽しめる車だ。ワインディングでもストリートでも、ピレリP7、205/50VR15とビルシユタインの組み合わせはドライバーに不安を感じさせない。外観ノーマル、中味はギンギン、チューンドカーの面白さはやっぱりこういう所にあるのではないか。

(山崎和彦)



インタークーラーはHK S製だ。



キダレーシングによるサウンドディレクトはドライバーをその気にさせるのに十分だ。

オアソン 5冊